

住みたい・住み続けたい・魅力ある街づくり

市民派連合
ながた きみよし
永田 公由



◆新年度予算案について

問 市道の舗装改良や排水路整備等、地元要望に對する箇所付けは。

答 地元要望箇所は312件で令和5年度に実施予定しているものは、185件、実施率は、約59%で事業費は3億1千万円を見込んでいます。

(建設課)

問 林業被害対策事業の内容と、今年度の松くい虫による被害状況は。

答 松枯損木処理に係るものが1千900万円、緩衝帯整備事業に3千万円等である。松くい虫による被害箇所は391箇所、処理費は約3千300万円となっている。

(農林課)

◆口腔ケアから健康長寿を目指す塩尻市について

問 口腔ケアから健康長寿を目指す都市宣言を検討してはどうか。

答 関係者の同意と市民意識の醸成が必要であり、

松本歯科大学や関係機関と連携を図り、協働して研究していきたい。

(健康づくり課)

◆魅力ある街づくり

問 塩尻は魅力的な街であるが、誇らしく感じている市民が多くないように思う。情報発信の方法など工夫する必要があるのではないか。

答 市民が愛着と誇りを持つるまちづくりが着実に進んでいると考えており、ともに支えあえる心豊かな地域をつくるため一人ひとりの幸せを実現する塩尻づくりに挑戦を続けていきたい。

(市長)



塩尻の魅力No.1 「高ボッチ高原」

任期満了にあたって 塩尻市手話言語条例 施策推進の状況報告

令和3年12月議員提案により制定され、令和4年4月1日から施行された「塩尻市手話言語条例」について、この1年間、本会議や委員会において多くの議員が質問し、施策の推進方針の進捗状況を確認してまいりましたが、このたびリーフレット完成の報告がありました。

広く啓発を行うほか、事業者に対しても手話に関する支援の取組に努めていただきたい旨の内容が掲載されています。

UDフォントが使われ、イラストも多く、とても見やすいリーフレットとなっています。

議員の任期満了に伴い、手話言語条例検討委員会も満了となりますが、地域の皆様、事業主の皆様にもぜひリーフレットを活用していただき、今後も手話への理解を深め、お互いに尊敬しあい、共生することのできる塩尻市でありますよう願っております。



▶ 「手話リーフレット」
お問合せは福祉課
障がい福祉係まで